





昭和37年度 栃木県中学校長会一般会計予算書

部	費目	予算	前年度 予算	比較増減	備考
収	1. 会費	424,600	388,000	36,600	会費2,000円×193校 臨時会費200円×193校
	2. 前年度繰越金	6,243	19,121	△ 12,878	
	3. 雑収入	50,100	50,100	0	事業部より50,000円
入	計	480,943	457,221	23,722	
支	I 事務費	250,000	238,000	12,000	
	1. 事務職員手当	112,000	98,000	14,000	月手当8,000円(12ヶ月) 賞与2ヶ月分
	2. 需要費	30,000	30,000	0	事務用消耗品費・通信・印刷費その他
	3. 旅費	60,000	55,000	5,000	全中本部・関プロ・陳情等の旅費
	4. 会議費	40,000	45,000	△ 5,000	幹事会・協議員会・その他の会議費
	5. 接待費	5,000	5,000	0	来賓等の接待費
	6. 雑費	3,000	5,000	△ 2,000	会場費その他
	II 事業費	120,000	115,000	5,000	
	1. 研修費	10,000	10,000	0	研究講習会費
	2. 部会費	45,000	35,000	10,000	庶務・会計・調査・職対・進路・事業の各部費並びに会報発行費6,000×4
	3. 連絡協議会費	20,000	25,000	△ 5,000	都道府県・県内各種連絡会議費
	4. 大会費	45,000	45,000	0	県総会費
	III 負担金	86,850	87,300	△ 450	
1. 全日中会費	77,200	77,600	△ 400	1校400円×193校	
2. 関プロ会費	9,650	9,700	△ 50	1校 50円×193校	
IV 慶弔費	10,000	10,000	0	本会としての慶弔	
V 予備費	19,093	16,921	2,172		
	計	480,943	457,221	23,722	
差引	残高	0	0		

事業部便り

諸兄の御理解と御協力に依り、お蔭で事業部も順調な歩みを続けられますことを茲に厚くお礼申上ります。會で、大島、日向野両校長と、私に金は金がなく、総会を開く際には、会計が各々一万円づつ持出して会の運営に当たるといふ惨めな有様でした。現会長になつてから、本会の使命達成には或る程度の資金がなければ不可能であるとの結論に達し、事業部を設置して活動してみようとの話し合いとなり、皆さんの御賛同を得て今日に到つた次第です。爾來六年、幸い皆さんに支持され乍ら、まあまああの成績を挙げて参りました。

次に三十七年の本部扱ひもの  
 生徒手帳 八万余部  
 教務手帳 千余部  
 新しい生帳 三万余部  
 週案 千四百余部

御採用戴きました学校に深く感謝致します。今后共、吾々の事業部を御支援賜われます様お願致します。

発行人 会長 黒田 邦博  
 (宇都宮市立一条中学校長)  
 編集人 庶務部長 大島 義正  
 (宇都宮市立旭中学校長)  
 印刷所 三共印刷株式会社  
 (宇都宮市旭町三の三四三)